

令和5年度 卒業式 式辞

今年は、顕著な大雪に関する気象情報が出されるほどの降雪があったかと思うと、最高気温が19度に達するなど、変化の激しい、まさに現代社会を象徴するような冬でした。元日には能登半島地震が発生し、家屋の倒壊、火災、津波等で多くの方々が被災され、現在も避難生活をされている方が大勢おられます。そんな中、今回の地震で被災され、現在敦賀市で避難生活をされている方から、「敦賀工業高校の生徒が制作した敦賀市役所のイルミネーションを見て感動し、勇気をもらいました。本当にありがとう。」という感謝の電話が学校に寄せられたことは、卒業生の皆さんの3年間の活躍をまさに象徴する出来事であったように思います。被災された皆さまの安全と被災地の1日も早い復興を祈りながら、春の訪れとともに皆さんの門出を祝福したいと思います。

本日、ここに令和5年度、第60回福井県立敦賀工業高等学校「卒業証書授与式」を挙げるにあたり、同窓会、PTAのご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業生の皆さんの門出を祝福できますことは、私どもにとりましてこの上ない喜びです。教職員を代表して、心からお礼申し上げます。

保護者の皆様には、お子様が本校での課程をすべて修了され、本日卒業の日を迎えられたことを、さぞお喜びのことと思います。教職員を代表し、心からお祝い申し上げますとともに、今日までの本校に対する温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました、102名の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、敦賀工業高校でのすべての業を終え、本日晴れて卒業の日を迎えられました。様々な学校行事でリーダーとして活躍する姿、部活動で後輩を引っ張り日々のトレーニングに励む姿、ものづくりコンテストなどの各種コンテストに真剣なまなざしで取り組む姿、また資格取得に向けて検定試験の勉強に必死に取り組む姿、校長室に来て自分の思いを語ってくれた姿などが私の脳裏にも様々に浮かんできます。アジア鋳物会議への参加や4学科合同でのインスタレーション設置をはじめとして、皆さんは常に新しいことに果敢に挑戦してくれました。

皆さんが入学した令和3年はまさにコロナ禍真っ只中にあり、未知のウィルスに対し、どのように対応していけばよいか、正解のわからない中で手探りしている頃でした。防護服を着た保健所の方による一斉PCR検査もありました。昨今、これからの時代は先が見通せない社会、VUCAの時代であるといわれていますが、コロナ禍はまさに過去のデータが通用しない、正解のない、先が見通せない日々の連続でした。しかしそのような中でも、人類はワクチンを作り出し、対処方法を次々に明らかにしていき、パンデミックからたった3年ほどで、未知のウィルスを克服する見通しをつけました。そこにあったのは、自らの力で未知のものに挑もうとする探究心であり、その探究心を支えたのは日々更新される新技術を取り入れ、学び続ける向上心であったと思います。

人類学者の研究によると2007年生まれの子どもの半数は107歳まで生きると予想されています。高校卒業後90年、皆さんの人生は続きます。その間に私たちを取り巻く社

会はどれだけ変化するでしょうか。ウォークマンは約30年でほぼ姿を消し、いわゆるガラケーは登場してから約15年でほぼ姿を消しました。大企業も同じです。富士フィルムは創業後約70年で化粧品事業などに参入し、今ではフィルム以外の事業が主力となっています。ソニーも創業後30年で生命保険に参入し、今では金融企業として成長しています。時代の変化が早くなっている現代においては、これからの90年の間に起こる変化の大きさは想像できません。

そのような現代社会を私たちはどのように生き抜いていくのか。進化論で有名なチャールズ・ダーウィンは著書「種の起源」の中で、「最も強いものが生き残るのではない。最も変化に適応したものが生き残る。」と書いています。つまり、私たちは変化に適応しながら生きていくほかないのです。そして、変化に適応するために、情報収集と自己研鑽、つまり自分自身をアップデートしていくことが欠かせないのではないのでしょうか。フォードモーター社を設立したヘンリー・フォードは「20歳であろうが80歳であろうが、学ぶことをやめた者は老人である。学び続ける者はいつまでも若い。人生で一番大切なことは、若い精神を持ち続けることだ。」と語っています。またロンドンビジネススクールの教授である、リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット、二人の著書である『ライフシフト 100年時代の人生戦略』には、「自分のことをよく理解し、よく学ぶためには、ほかの人たちに意見を求め、寄せられた意見について自分自身を振り返ることが有効だ。その重要性はきわめて大きい。自分と世界について新しい情報を加えるだけなら、誰でもできる。自らを変化させようとする人がほかの人と違うのは、単に情報を加えるだけでなく、世界の見方を変更することだ。その結果として、自分についての理解が広く深くなり、いくつもの要求と不確実性に対処する能力が高まる。」と書かれています。

皆さんは敦賀工業高校での3年間でこれからの世界を切り開き、皆さんの、そして皆さんを取り巻く人々の幸せを実現する足がかりを手に入れました。これからはその足がかりをもとに、自分自身を日々アップデートさせ、変化していく社会に適応し、それぞれの目指す道を仲間とともに歩んで欲しいと切に願っています。

終わりにあたり、保護者の皆様にあらためてお祝いを申し上げますとともに、卒業生の皆さんの、ご健康とご活躍、そしてご多幸を、心から祈念いたしまして、式辞といたします。

令和6年3月1日

福井県立敦賀工業高等学校長 玉井 淳